

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4 年 1 月 19日

事業所名:スマイルキッズステーション きらきら 保護者等数(児童数)24名 回収数 23 割合 95.8%

	チェック項目	はい	どちらともいえない		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			いいえ	わからない			
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	3	0	1	活動場面を見ていないのでわからない。園庭が狭い。	環境を整える努力をしている。公園での活動を多く取り入れる。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	0	0	5	専門性が分からない。	定期的な情報提供を行う。定期的に見直す。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	0	0	2	見ていないので分からない。	バリアフリーで環境整備に努めている。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	22	0	0	1	意見なし	職員間で情報交換・共有を行い児童発達支援管理責任者が計画書を作成している。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	20	1	0	2	意見なし	活動計画を専門職で話し合い立案・実施している。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	5	0	6	意見なし	コロナがあり実施できていない状況。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	0	0	0	意見なし	契約時や必要に応じて説明を行う。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	0	0	0	意見なし	送迎時や面談を通して保護者の方と状況把握や相談業務を行っている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	2	0	1	意見なし	家庭などの様子を聞き助言を行う。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	7	6	5	コロナの為、実施できないのは仕方ないと思う。他の保護者と話したい。	コロナがあり実施できていない状況。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	2	0	4	意見なし	苦情が発生した場合は、迅速に対応し説明や改善していく為に職員で話し合いを行っていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	0	0	0	意見なし	連絡帳、電話連絡、面談などにて意思疎通を図っていく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	1	0	1	意見なし	毎月のおたより、その都度活動のお知らせを配布している。
14 個人情報に十分注意しているか	21	0	0	1	意見なし	個人情報の漏洩、保護に努め職員へ指導を行う。	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	4	0	7	感染症対策は出来ていると思う。	契約時に説明を行っている。職員での勉強会を開きマニュアル確認・周知を行っている。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2	0	10	意見なし	毎月設備点検を行っている。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	21	2	0	0	先生に会うのを楽しみにしている。	楽しく過ごすことができ成長に合わせた活動の立案・実施を行っている。
	18 事業所の支援に満足しているか	21	2	0	0	個々に気をつけてもらっています。	子どもたちの成長に繋がる支援、保護者への支援を継続して行っていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。